

事業番号	11 08 07	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	克雪住宅普及促進事業			担当課	部局	建設部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	建築住宅課		
	施策の総合的展開	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり 3 ゆとりある住環境の形成		E-mail	kenchiku@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間	H26	～	H30
	施策展開						

### 1 事業の概要

目指す姿	豪雪地域に暮らす住民の雪下ろしによる身体的負担を軽減し、作業中の転落事故等を未然に防ぐため、市町村が行う住宅の克雪化への支援に対し、県がその費用の一部を補助することにより、雪下ろし作業を不要とする克雪住宅の整備を図る。 成果目標：克雪住宅整備戸数 200戸（平成26年度～平成30年度）	
現状（予算編成時）	<input type="checkbox"/> 雪害による人的被害のうち、85%が除雪作業中の事故であり、さらにその63%が屋根の雪下ろし作業中の事故となっている。（H21～26年度計） <input type="checkbox"/> 過疎化、高齢化が進行する中、危険な雪下ろし作業を不要とする克雪住宅の普及が必要となっている。	

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 ・特別豪雪地帯全域での広域的な取組が必要 ・豪雪地帯対策特別措置法、第6次豪雪地帯対策基本計画（国）、第6次長野県総合雪対策計画
	県民との協働による実施： 実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	克雪住宅整備戸数 30戸					
	② 事業内容		（単位：千円）			
	項目	実施方法	H28事業実績		H28	H29
				（当初）	（決算）	（当初）
克雪住宅普及促進事業補助金	補助金	住宅屋根の克雪化に対して市町村が補助する額の2/3を補助（上限：融雪型40万円、自然落雪型30万円） ※融雪型2戸、自然落雪型6戸		10,000	1,900	7,200
			合計	10,000	1,900	7,200

事業コスト	区分（単位：千円）		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	8,000	10,000	7,200				目標	成果	達成状況	
		補正予算										
	合計（A）		8,000	10,000	7,200	克雪住宅整備戸数	6戸	7戸	30戸	8戸	未達成	25戸
	Aの財源	一般財源	4,000	5,500	3,960							
		県債										
		国庫支出金	4,000	4,500	3,240							
		その他	0	0	0							
	決算額（B）		2,252	1,900								
概算人件費	職員数（人）	0.30	0.30	0.30								
	概算人件費（C）	2,483	2,374	2,374								
概算事業費（B（A）+C）		4,735	4,274	9,574								

目標に対する成果の状況	職員による施策研究提案事業であり、H26の創設から3年目の実施となった。 今年度から自然落雪型克雪住宅への改修を補助対象に追加したことで、昨年度と比較すると実施件数はやや増加したが、自然落雪型住宅の屋根勾配の取扱い等により目標には達しなかった。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 地元自治体からの要望を踏まえてH28から補助対象を拡大しており、さらなる浸透を図りたい。 事業実施期間がH30までであることから、期間内に克雪住宅の整備が進むよう、市町村への呼び掛けと住民への周知を強化したい。 緩和できる基準の標準的な考え方を具体例を示して通知し、円滑な運用による事業進捗を図りたい。
--------------------	--